

# 留学体験レポート

国際学部国際学科 2年

中川 賢太郎

## 1. はじめに

これから4か月日本を離れてアメリカ留学で自分の体験したこと、自分の感じたことを4つのパートに分けて書いていきます。

## 2. ミックスカルチャー

アメリカは移民でできた国だと、歴史を学んで知ってはいたが自分の想像を少し超えていました。人種という考え方はないと言っては過言ですが、移民してきた人はもう自分自身の国はアメリカと言っている人がいました。ある人に話では、もう誰がアメリカ人かなんて見ただけではわからないと言っていました。食事も例えばピザなどはヨーロッパのイタリアで有名ですが、ピザを食べる文化が流れてきて、アメリカンピザがあります。タコスもそうです。メキシカン料理だったのが、アメリカの代表的な食べ物的一部分になっています。アメリカの文化、考え方の一部ですが体験してきました。

## 3. 大学での暮らし

大学敷地内にある寮から学校に通っていました。校舎から遠く約15分歩かなくはいけなく、夏は暑く、冬は寒くて正直つらかったです。ご飯はユニオンに行けば朝の7時から夜の12時までやっていたのですが、その移動がやはり大変でした。日用品の買い物はシャトルバスで近くのお店まで行けるのですが、曜日や時間が決まっているので自分のタイミングいけなく、何かなくなったときすぐにいけないということも大変でした。贅沢な悩みなのかもしれませんがすこし不便でした。

## 4. 授業

授業内容はリーディング、グラマー、リスニングスピーキングがほぼ毎日、TOEICの授業が週2回、アメリカの文化を学ぶ授業が週1回でした。小テストはほぼ毎週あり、宿題もあり、やることだらけでした。また、発言をしないと授業参加してないととらえられ点数が低くなることもありました。あと、グループディスカッションも多くあり、自分の考えを持ち、それを伝える、これが特に難しかったです。でも、自分的にはすごくいい環境で勉強できたことに感謝しています。もちろんつらかったですが、その分力がついたと感じました。

## 5. 日本人以外との交流

留学中様々な人と出会い、話しました。アメリカ大統領選挙がちょうどやっており、そ

の話は当時多く話しました。お互いの国のステレオタイプなども話し合ったりもしました。一人ひとり自分の考えを持っていてどの意見が正しいかは結果決まらないままでしたが、自分自身の考え方を広げてくれたと思います。

#### 6. 最後に

この留学をできたことで自分の中でもっと勉強したいと思うようになり、いろいろな人と出会って話、考えを広くもつことを学びました。これからもこのモチベーションを維持していきたいです。